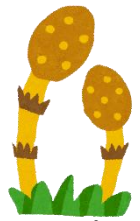


つくし君  
(小学生用)

予約制

## 高齢者疑似体験セットの貸出



高齢者の日常生活動作を擬似的に体験することにより、加齢による身体的な変化（筋力、視力、聴力などの低下）を知り、高齢者の気持ちや介護の方法、高齢者とのコミュニケーションの取り方を体験的に学ぶことを目的とし貸出をしています。

### つくしくん (小学生用)

対象 京都市内の介護・福祉・医療関係機関および教育機関

期間 1週間

費用 無料

(破損の場合は自己負担での修理となります)

貸出規程 [「つくしくん貸出について」](#)



福祉用具の貸出もしています。

詳細は

[「福祉用具シミュレーションについて」](#)

をご覧ください。



### ○貸出しまでの流れ

- ① [「小学生用高齢者疑似体験セット『つくしくん』貸出しについて」](#)を熟読後、電話又はメールでご予約をお取りください。
- ② 予約後[「小学生用高齢者疑似体験セット『つくしくん』貸出申請書兼借用書」](#)を FAX 又はメールでご提出ください。
- ③ ②を提出後「小学生用高齢者疑似体験セット『つくしくん』予約受付確認書」を返信します。返信をもって予約完了とします。
- ④ 貸出当日は「小学生用高齢者疑似体験セット『つくしくん』貸出申請書兼借用書」の原本をご持参ください。

# 小学生用高齢者疑似体験セット「つくしくん」貸出しについて

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

社会福祉研修・介護実習普及センター

## 1. 目的

- (1) 社会福祉研修・介護実習普及センター（以下、センター）は、小学生用高齢者疑似体験セット「つくしくん」（以下、つくしくん）を装着して、高齢者の日常生活動作を擬似的に体験することにより、加齢による身体的な変化（筋力、視力、聴力などの低下）を知り、高齢者の気持ちや介護の方法、高齢者とのコミュニケーションの取り方を体験的に学ぶことを目的とし、以下のとおりつくしくんの貸出しを行います。

## 2. 対象

- (1) 京都市内にある介護・福祉・医療関係機関および教育機関で、当センターが行う貸出しにあたっての説明を受けた方とします。

## 3. 期間

- (1) 原則として7日間とします。

## 4. 費用

- (1) つくしくんの貸出しは無料とします。ただし、搬入出に必要な運搬の費用は借用者の負担です。

## 5. 方法

- (1) つくしくんの貸出しを受けようとする時は、電話等でご予約のうえ、「小学生用高齢者疑似体験セット『つくしくん』貸出申請書兼借用書」を提出してください。
- (2) 「小学生用高齢者疑似体験セット『つくしくん』予約受付確認書」の送付をもって予約完了とします。
- (3) つくしくんの借用・返却は、福祉用具展示コーナーの開館時間内に行ってください。
- (4) つくしくんは全部で8セットあります。
- (5) 借用期間中は、つくしくんを丁寧に扱い、正しく使用し、良好な状態で保管してください。

## 6. 返却

- (1) つくしくんは、必ず返却予定日までに借用者が返却してください。
- (2) つくしくんは、点検・清掃・消毒のうえ、取扱説明書に記載のとおり収納し、返却してください。

## 7. 破損・紛失

- (1) 借用者は、つくしくんを善良なる管理者の注意義務をもって、使用・管理してください。
- (2) 借用物品に関する事故・破損があった場合は、借用者が全ての責任をとることとします。  
ただし、その場合は、事故・破損の状況と対応等についてセンターに速やかに報告してください。
- (3) 破損・紛失の場合は、必要に応じて、下表のとおり請求します。特に眼鏡は壊れやすいので、十分留意してご使用ください。

眼鏡	520円（税込み）
眼鏡固定バンド	800円（税込み）
その他	購入先に準ずる。

（2021年4月1日現在の金額）

## 8. 禁止

- (1) つくしくんを他の人に転貸しないでください。

## 9. その他

- (1) この規定に定めない事項については、所長が別に定めるところによるものとします。

### お問合せ先

社会福祉研修・介護実習普及センター（ひと・まち交流館 京都 4階）  
福祉用具展示コーナー（ひと・まち交流館 京都 1階）  
開館時間は、土・日・祝及び毎月第3火曜日を除く、9:00～16:30  
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1  
電話 075-354-8772 / FAX 075-354-8808  
E-mail kaigo@kcsw.jp

# 小学生用高齢者疑似体験セット「つくしくん」貸出申請書兼借用書

年 月 日

社会福祉研修・介護実習普及センター

所長 小山 幸誠

**【申請者】**

団体名

代表者

(担当者 )

住所 〒

電話

別紙又は裏面の「貸出しについて」を熟読したうえで、下記の通り物品貸出しを申請します。

貸出日時	月 日 ( ) 時 分 (16時最終)
返却日時	月 日 ( ) 時 分 (16時最終)
使用備品	つくしくん セット
耳栓 (1セット 50円)	不要 ・ 要 ( セット)
使用場所	
使用目的	
貸出時に使い方の説明	不要 ・ 要
疑似体験について他機関と連携はとられていますか	無 ・ 有 (連携先 )
所属機関 (該当に○をつけてください)	行政、地域包括支援センター、介護老人福祉施設・保健施設、訪問看護 St、訪問介護 St、デイサービス、居宅介護支援事業所、障害者施設、医療機関、教育機関、福祉用具貸与事業所、メーカー、建築関係、社協、その他

**【事務局記入欄】**

返却日時	月 日 ( ) 時 分	サイン
------	-------------	-----